

法律学科		教授	神馬幸一	大学院の授業担当 有
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	導入段階(1年生)	2008年4月から現在	細かい知識を単に暗記するような受験勉強的方法論からの脱却を学生に強く促している。大学における学習の本質は、有限の情報を用いて、未知の問題に対処しうる能力を鍛えるところにある。そのために、最先端の情報を収集し、再構成するノウハウに関して、様々な視聴覚的教材を用いながら、分かりやすく指導している。	
2	基礎段階(2年生)	2008年4月から現在	法律学の基礎固めにおいては、多くの情報を伝えることが可能な講義形式での授業が中心となる。但し、講義においては、学生の興味・関心が薄れないように時事的な問題も取り入れながら、臨機応変な対応を心掛けることで内容が平板にならないよう工夫している。	
3	発展・応用段階(3~4年生)	2008年4月から現在	討議形式の授業を活用することにより、法律学の基礎を習得した学生に対して、専門的な課題への積極的な関与を促している。そのように具体的・実践的な事例検討を通して、学生の理解が深まるよう工夫している。その際、学生には体系的な観点からの整合性を意識させることで法的推論の力を伸ばすように心掛けている。	
4	学生による授業評価の活用	2008年4月から現在	教授する側が、単に法律的な知識を有しているということだけでは、教育の質的観点から不十分であろう。実際に授業を実施して得られた学生からの評価は「PDCAサイクル」すなわち、Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Act(改善)を通して、段階的に授業の質が高められるように活用している。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	大野=森本=加藤=本田=神馬 『刑法総論』 世界思想社	2011年11月初版発行 2015年4月新装版発行	犯罪とは、何か。刑罰は、なぜ科されるのか。多くの学説が林立する中で通説的見解を客観的に説き示す。近代刑法の変遷と成立・意義・機能から、刑法総則規定の基礎理論を分かりやすく解説するものである。	
2	大野=加藤=飯島=島田=神馬 『刑法各論』 世界思想社	2014年6月初版発行	刑法各論の「基本」が良く分かる概説書。時代の要請に伴って法解釈も変化していく中で、その基本となる概念を成り立ちから捉え、刑罰法規における考え方を丁寧に解説するものである。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1	静岡大学全学キャリアデザイン教育・FD委員会主催「授業改善ワークショップ:ゼミ・研究室運営のノウハウを共有する」	2011年9月13日	前任校の静岡大学において、全学に所属する専任教員を対象としたFD講習会の場で担当するゼミの活動が個性的であると評価されたことにより、その内容を紹介する機会が得られた。	
4 その他教育活動上特記すべき事項				
1	オリジナル臓器提供意思表示カードの作製・配布活動	2010年10月~	前任校の静岡大学で担当していた刑事法・医事法ゼミナールにおいてオリジナルの臓器提供意思表示カードを作製し(www.jotnw.or.jp/nwsupport/original.html に登録されている)、静岡市地域内での配布・広報活動を実施した。その取組みの内容に関しては、2010年10月8日付けの静岡新聞(夕刊)1面で採り上げられた。	
2	学生の学習成果発表会における担当ゼミの受賞(1)	2011年1月20日	前任校の静岡大学人文社会科学部法学科で主催されていた2010年度学生発表会では「臓器移植法改正『親族優先提供』に対する批判」という題目の発表により、担当していた刑事法・医事法ゼミナールが最優秀賞を獲得した。	
3	学生の学習成果発表会における担当ゼミの受賞(2)	2013年1月17日	前任校の静岡大学人文社会科学部法学科で主催されていた2012年度学生発表会では「こうすれば臓器移植は増加する:2012年度ノーベル経済学賞受賞『マーケット・デザイン』理論の衝撃」という題目の発表により、担当していた刑事法・医事法ゼミナールが優秀賞を獲得した。	

法律学科	教授	神馬幸一	大学院の授業担当 有
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)			
年月日	活動内容		
2002年度～現在	日本刑法学会 正会員		
2002～2004年度 2008年度～現在	日本犯罪学会 正会員		
2008年度～現在	日本医事法学会 正会員 (2016年度～2018年度「年報医事法学」編集委員会・委員) (2019年度～現在 学術委員会・委員)		
2008年度～現在	日本司法精神医学会 正会員		
2008年度～現在	日本生命倫理学会 正会員 (2017年度～2019年度 理事) (2019年度～現在 評議員) (第32回年次大会 副事務局長)		
2008年度～現在	慶應法学会 正会員		
2011年度～現在	法と経済学会 正会員		
2011年度～現在	日本翻訳家協会 正会員 (2021年度～現在 評議員)		
2011～2012年度	静岡市医療安全推進協議会 委員		
2011年度～現在	静岡県赤十字安全奉仕団 団員		
2012年度～現在	日本刑事政策研究会 正会員		
2016年度～現在	World Association for Medical Law 正会員		
2019年度～現在	(一社)日本受精着床学会・将来計画委員会 委員		
2019年度～現在	(公社)日本臓器移植ネットワーク・倫理委員会 委員		
2023年度～現在	(公財)日本尊厳死協会・理事		
その他			
<p>科学研究費助成事業:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手研究(スタートアップ)「先端医学研究の妥当な在り方に関する比較法的研究」(研究代表者)(2008～2009年度) ・若手研究(B)「脳神経科学の妥当な在り方に関する比較法的研究」(研究代表者)(2010～2012年度) ・若手研究(B)「緩和ケアの妥当な在り方に関する比較法的研究」(研究代表者)(2013～2017年度) ・基盤研究(C)「患者の事前指示及び医療代理制度に関する比較法的研究」(研究代表者)(2019～2022年度) ・基盤研究(C)「ドイツ語圏における臨死助法制の解明」(研究代表者)(2023～2026年度) <p>受賞歴:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慶應義塾志木高等学校卒業時優等生学事表彰(1996年3月) ・スイス政府奨学金給付留学生(2005年7月～2007年7月) ・日本犯罪学会 学術奨励賞(2008年11月) ・静岡大学「第Ⅱ期:若手重点研究者」称号授与(2013年4月～2015年3月) ・神奈川県保険医協会創立50周年記念『日本医療再生の懸賞論文』審査委員長奨励賞(2013年10月) ・日本生命倫理学会若手論文奨励賞(2014年10月) 			